

# 北九州市 民児協だより

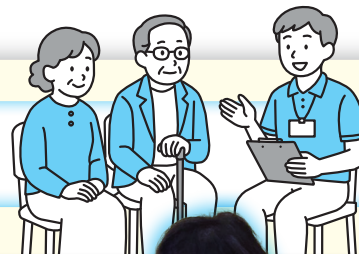
支え合う  
住みよい社会  
地域から

第57号  
令和7年9月1日発行



●発行／北九州市民生委員児童委員協議会 ●発行者／会長 中杉 長男 ●企画・編集／広報委員会  
☎804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階 北九州市社会福祉協議会内 ☎093-873-1296 / FAX093-873-1351

## 特集 「一斉改選」に向けて



### 若松区



これまでの20年あまりの活動を振り返るに、多くのみなさまに支えていただき感謝の念に堪えません。人と人とのつながりをこれほどまでに温かく感じられる活動に携わることができ深甚に思います。退任にあたり、後任委員への丁寧な引き継ぎを心がけるとともに、退任後もできる範囲で協力し、支え合いの地域づくりに寄与したいと思います。

若松区二島地区民生委員児童委員協議会  
会長 新宅 吉見

### 八幡東区



民生委員としての21年間、たくさんの方にお世話になりました。先輩方や同僚、社協、行政、地域の方、家族の支え、そして私に心を開いて下さった担当世帯の方々に、心から感謝しています。新任委員さんには、様々な問題に直面しても「楽しい民生委員活動を」の気持ちで地域のために尽力して頂きたいと心から願っています。

八幡東区中央地区民生委員児童委員協議会  
会長 河野 はつえ

### 八幡西区



後継者を探しているうちに、75歳の年になってしまいました。

定例会で、次期会長について話をする度に、笑顔になり思わず笑声になりました。

「ボランティアは楽しく、自分育てと継続は力なり」をモットーに気付けば18年間、地域福祉に関わる貴重な学びでした。

皆様のご協力に感謝しています。ありがとうございました。

八幡西区池田地区民生委員児童委員協議会  
会長 酒井 由美子

### 戸畑区



民生委員になり、これまでの活動と地域の実情や課題をみんなで話し合い、社会的孤立を防ぐために、地域で見守り支え合ってまいりました。現在、民生委員のなり手不足が深刻になっています。民生委員活動のお手伝いができる方がおられましたら嬉しく思います。民生委員・児童委員の皆様のご健勝と、なお一層のご活躍をお祈りいたします。

戸畑区牧山地区民生委員児童委員協議会  
副会長 大西 久三

令和7年度 地区民生委員児童委員協議会会長研修会が、6月18日(水)にウエルとばた2階 多目的ホール等にて開催されました。

今回は、北九州市立大学の末永和也先生を講師にお迎えし、「コミュニティソーシャルワークとは ～話し合いの成果を高めるための効果的なファシリテーション～」というテーマでご講演いただきました。地域の会議や日常的な会話で活かせるファシリテーション技法について、具体的な事例を交えながら、分かりやすくご教示いただきました。意見を引き出す工夫や、話しやすい雰囲気づくりの大切さなど、多くの学びを

得ることができました。

グループワークでは、北九州市立大学の学生や区社協職員と一緒に、「地区会長として新任委員をどのように支えていくか」や「参加したくなる会議をつくるための工夫」について活発な意見交換がなされました。また、情報交換の時間では、それぞれが抱える悩みや、日々の活動に対する思いを共有する貴重な機会となりました。同じ立場だからこそ通じ合えることが多く、互いに励ましを受ける場となったことで、今後の活動への前向きなエネルギーにもつながったように思います。



北九州市立大学 末永 和也先生



グループワークの様子

## 令和7年度 市民児協評議員会

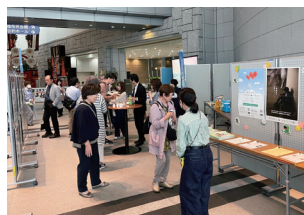
評議員111名が出席し、令和6年度の活動報告・決算、令和7年度の活動計画・予算についての審議が行われ、承認されました。

5月12日の「民生委員・児童委員の日」から一週間の活動強化週間における活動として、北九州市民児協では、民生委員・児童委員活動についての理解を広めるため「パネル展」を開催し、広報・啓発活動を行いました。あわせて、民生委員・児童委員活動についてのPR動画を上映しました。

5月24日には「オープンカフェ」を実施し、来場者にはお菓子やコーヒーを提供しながら民生委員・児童委員について紹介しました。およそ90名の方にご来場いただき大盛況となりました。



パネルによる広報啓発活動！



オープンカフェの様子★

10回目を迎えた北九州マラソン2025が2月に開催されました。大会後、第1回大会から今大会まで連続でボランティアとして参加している団体・グループが表彰され、本会を含む19団体がその功績を称えられました。

令和7年3月の市民児協理事会にて、北九州マラソン実行委員会事務局より中杉会長へ表彰状が授与されました。

これまで継続してボランティアとして大会運営に協力してきた活動が評価され、大変励みとなっています。



北九州マラソン  
表彰状



会長授与

## ♪第42回リレーエッセイ

八幡東区高槻地区  
民生委員児童委員協議会  
会長 松田 京子



「高槻のホタル」は昭和57年に、高槻小学校で児童によるホタルの飼育が始まったことがきっかけです。以来、学校、保護者、地域の協力を得て30年以上にわたり飼育を続けており、毎年槻田川に数千匹のホタルが乱舞しております。ホタルの季節になると、「ホタル祭り」が開催されます。今年も保育所園児、幼稚園児、小学校の児童が担ぐ可愛い三基の神輿の町内巡行で幕を開けました。演芸や手作りバザーで賑わいました。民児協も、毎年人気の唐揚げ・フライドポテト・コロッケを提供し、子どもたちの笑顔にたくさんさんの元気をもらいました。祭りの最後には、一斉に街灯を消し、静かにホタル観賞する時間があります。暗闇の中で無数のホタルが舞う光景は、それは幻想的で、震えるほどの感動があります。これからもホタルを通じて、子どもの成長や地域内のつながりづくりに繋げていきたいと考えています。引き続き、ホタル祭りを大切に続けていきたいと思います。

「高槻ホタル祭り」で  
地域の活性化

活発な議論と交流の2日間

令和7年度九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議が7月24日（木）25日（金）に本会並びに市社協の主催によりアートホテル小倉ニータガワにおいて開催されました。本会議には、九州各県および指定都市の民生委員児童委員協議会の代表者が一堂に会し、民生委員・児童委員活動のさらなる充実を図ることを目的として、活動上の課題や今後の方向性について意見交換を行いました。

会議1日目

各県・指定都市の参加者約70名の出席の下、盛大に開会式が行われました。主催者を代表して、本市民児協中杉会長と北九州市社協小林会長による歓迎後、来賓挨拶として全民児連松下副会長、武内北九州市長より祝辞をいただきました。

開会式典後、全社協 平井部長より「民生委員・児童委員をめぐる動向と令和7年度全民児連事業」について基調報告が行われました。一斉改選を12月に控え、かねてより課題となっていた担い手確保に向けた取り組みや重層的支援体制整備事業における民生委員の役割など、最新の動向を理解し、地域での実践につなげるための貴重な機会となりました。

その後、参加者は2会場に分かれて分科会を実施しました。両分科会の共通協議議題として「委員の継続・定着に向けた環境づくり」民児協が求められ

る機能とは」をテーマに委員活動の持続可能性や支援体制のあり方について意見を交わしました。さらに、選択協議議題として、第1分科会では「地域共生社会の実現」に向けたネットワークづくりと連携・協働の強化、第2分科会では、「こどももみんなが社会」の実現に向けた地域づくりと委員活動」をテーマに議論が展開されました。

特に印象的だったのは、一斉改選に向けた広報活動への取り組みです。市政だよりによる大々的な広報をはじめ、広範囲の住民向け、子ども向け、候補者向けといった対象別に作成されたチラシの実物が提示され、各民児協での創意工夫が紹介されました。大変参考となる内容でした。

会議2日目

会議2日目は、各分科会の座長より、昨日の議論内容や意見の概要について報告が行われました。各会場で交わされた多様な意見や課題意識、今後の取り組み



分科会の様子

の方向性が共有され、参加者間で理解を深める貴重な機会となりました。

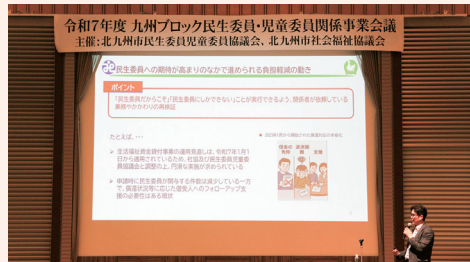
その後、全民児連松下副会長、および全社協 平井部長より、それぞれの



皆さんそろって笑顔で記念撮影

立場から助言をいただきました。分科会での議論を踏まえた実践的な示唆や、今後の民生委員・児童委員活動に対する期待が述べられ、参加者にとって今後の活動に活かすべき重要な示唆となりました。

2日間にわたり、活発な協議、情報交換が行われ、森野筆頭副会長の閉会のこのとにより会議が無事終了しました。本会議を通じて得られた知見やつながりを今後の委員活動に反映させ、地域に根ざしたより良い支援体制の構築に向け、引き続き取り組みたいと思います。



全社協民生部 平井部長による基調報告

報告 民生委員活動件数について

世帯担当委員			
項目	R6年度	R5年度	比較
相談・支援件数	57,155	58,148	-993
訪問回数	279,286	285,382	-6,096
連絡調整回数	97,417	98,127	-710

主任児童委員		
R6年度	R5年度	比較
4,178	3,762	416
2,641	2,702	-61
18,667	18,166	501

編集後記

早や三年目も残り僅かとなりました。編集作業を七区の広報委員で試行錯誤しつつ、事務局スタッフのサポートを得て発行に辿り着いています。

読みやすい誌面と内容を工夫して、これからも取り組んでいきます。

広報委員 門司区大里南地区 福島 聖晃

## 民生委員のQ&A

A Q

12月の一斉改選後に退任を予定しているが、どのような点に気を付けて引継ぎの準備をすればいいですか？  
民生委員活動の継続性と円滑な移行のため、後任者へ丁寧な引継ぎが重要です。このため、引継ぎ確認書を活用しながら、支援が必要な人の情報のもとになる福祉台帳の整備や生活福祉資金等の関係書類の準備をお願いします。また、後任者のフォローアップという視点から、困ったときの相談相手（先輩委員やいのちをつなぐネットワーク係）についても整理しておいて下さい。

### 人生いろいろ人もいろいろ ナンフルナイサー

八幡西区穴生地区民生委員児童委員協議会

会長 岩屋 義和

7年前、江戸から「穴生」に戻ってきて、長崎街道を木屋瀬宿に向かって歩いていくときに、ふと空を見上げると、空一面にブルーが広がっていました。

ある夏の日、トボトボと長崎街道を歩いていくとき、  
のんびりした優しい声が風に  
乗って聞こえてきました。

おーいという声に振り向くと、  
本当に十数年ぶりにお会いする  
大先輩がおられました。

幸か不幸か？その時の再会が、  
民生委員・児童委員になるきっかけでした。それから3年後、その  
大先輩が穴生地区の会長を退任され、縁あってその方の後任となり、  
今に至っています。

「穴生」は人口約12,000人で、民生委員・児童委員と主任児童委員は17名の地区です。併せ、連携して活動している福祉協力員は約60人です。穴生地区では、日々、

自治会・学校・まちづくり協議会・地域スポーツクラブ等の皆さんとコミュニケーションをとったり、見守り活動を行っています。敬老会や穴生祭り等、様々な行事もあり、ボランティアに積極的に取り組む方々には頭が下がる思いです。その反面、「なり手不足」が進行しており、その影響を実感している今日この頃です。ゆえに、市民児協だより第56号の枝光第二地区宮地会長の言葉にあったように個々人が「無理なく」活動に参加できる地域づくりができるよう、これまでの慣例を見直しつつ、信頼する多くの方々と情報交換（飲みニケーション含む）しながら、「無理なく参加できるスキーム」を考え、少しずつ実行できたらいいなあ、と夢見ています。



## 活動最前線 ほつとひろば

### 子どもたちの笑顔のために

小倉北区民生委員児童委員協議会

主任児童委員部会

副部会長 原田 理恵  
(霧丘地区)

このたび、北九州市がADRMモデル事業（いじめ問題早期解決のための紛争解決事業）を始めるにあたり、仲裁人補助者の推薦団体として民生委員児童委員協議会に協力してほしいとの依頼がありました。

「子どもたちが安心して学校生活を送るためにできることは協力したいけれど、仲裁人補助者なんて自分たちに務まるんだろうか？」疑問や不安は多々ありました。小倉北区の主任児童委員の中にはコロナ禍で児童支援に関わった経験

が少ない委員や新任の委員、仕事等で多忙な委員もいます。そこで主任児童委員だけではなく、世帯担当の児童委員にも広く協力を求めていくことになりました。

早速、主任児童委員部会の定例会に教育委員会の担当者を招いての合同勉強会を企画し、ご案内すると、主任児童委員経験のある世

帯担当の児童委員や児童福祉活動等の経験がある委員、相談支援経験の長い地区会長など多くの委員が参加してくれました。熱心な質疑応答の後、グループに分かれての情報交換も行いました。世帯担当委員も交えることで、有意義な時間となりました。

モデル事業の具体的な取り組みはまだこれからですが、こうした機会をチャンスと捉え、世帯担当委員や学校等との連携をより深めることで、子どもたちの安全で安心してほしいと思います。



話が弾み  
時間が過ぎるのも  
忘れるほど



熱心な質問にも  
子どもたちへの  
思いがこもります